

平成27年度いわて未来づくり機構実績報告(案)

「いわて未来づくり機構」の設立8年度目である平成27年度においては、機構の第2フェーズ（東日本大震災津波以降）で復興を加速する年と位置付け、成果と実績をあげることに重点を置いて作業部会活動をはじめとした各種活動を展開した。

事業内容

(1) 総会の開催

開催日：平成27年7月9日（木）

場 所：エスポワールいわて

内 容：ア 平成26年度実績報告(案)及び平成27年度活動計画(案)

イ 講演「ILCと地方創生」 岩手県立大学長 鈴木厚人氏

参加者：約80名

(2) ラウンドテーブルの開催

① 第1回ラウンドテーブル

開催日：平成27年7月9日（木）

場 所：エスポワールいわて

内 容：ア ラウンドテーブルメンバーの変更

イ ディスカッション「地方創生」

参加者：約80名

② 第2回ラウンドテーブル

開催日：平成27年11月5日（木）

場 所：岩手銀行本店

内 容：ア 報告「岩手県人口ビジョン」、「岩手県ふるさと振興総合戦略の策定について

イ ディスカッション「地域を担う人材の育成と地元定着」

参加者：約90名

③ 第3回ラウンドテーブル

開催日：平成28年2月1日（月）

場 所：岩手銀行本店

内 容：ア 機構の平成27年度活動状況

イ COC+事業と機構との連携について

ウ いわて県民計画「第3期アクションプラン(案)」について

エ 官民連携事例発表

釜石市総務企画部総合政策課まち・ひと・しごと創生室長

石井重成氏

参加者：約100名

(3) 企画委員会の開催

活動の企画・調整を担う組織として、企画委員会を4回開催した。

(4) 作業部会の開催

新たに、ふるさといわて創造作業部会を設置し、地域を担う人材の育成と地元定着等に向けた機構の取組を強化。

部会名(担当機関)	平成27年度の主な活動実績
産業復興作業部会 【岩手大学】	・産業支援機関等からの情報収集や先進事例調査の実施 ・「コーディネーターアンケート調査」の実施(県内市町村対象)と分析
医療福祉連携作業部会 【岩手県立大学】	・福祉施設を見守り拠点とした重層的見守り体制に係る実証実験の実施(釜石)と人的見守りとICT活用見守りを一元化するためのポータルサイトのモデル的運用 ・成果報告、普及に向けた取組の実施
かけ橋作業部会 【岩手県】	・復興支援プロジェクト「いわて三陸復興のかけ橋」を展開 ・復興支援マッチング、復興関連情報の発信及び復興支援ネットワークの強化に取り組む
東北未来創造イニシアティブ作業部会 【岩手銀行】	・実践型人材育成道場「未来創造塾」の第3期開講 ・卒塾生第1～3期で計57名輩出
復興教育作業部会 【岩手大学】	・復興教育支援のための講師派遣事業「いわての師匠派遣事業」を実施(8件の講師派遣・プログラム提供) ・事業参画機関の拡大(6機関→20機関)
いわて復興未来塾作業部会 【岩手県】	・いわて復興未来塾6回開催 ・県民等に復興に関する学びの場を提供するとともに、参加者間の交流や連携を推進
ふるさといわて創造作業部会 【岩手大学】	・平成27年度新規設置 ・「ふるさといわて創造プロジェクト」との連携体制と作業部会の運営体制を構築

※ 詳細は別添資料のとおり。

(5) その他

- ① 「いわて未来づくり機構だより」の発行(3回)
- ② 各種フォーラムやセミナー等に係る後援及び周知協力等を実施

ラウンドテーブルメンバー就任

第1回ラウンドテーブル(平成27年7月)において、新たに、鈴木厚人 岩手県立大学長が就任された。